



ころぼよとは
Collaboration
コラボレーション
(共同・協働)と
~しようよの組合せ

みんなで
男女共同参画社会実現
に向けて活動しようよ

第39号 2017・冬



♪ 「男性のための簡単料理講座」に行ってきました♪



この講座は、三木市男女共同参画センターが毎年開催している、大変人気の講座です。3回コースの最終回に体験参加しました。受講されているメンバーは60代~70代の方11人で、講師は市内で幅広く活動されている「三木市いずみ会」の皆さんです。

9時半には全員がエプロンに三角巾で3班に分かれてスタンバイ。本日のメニューは☆炊飯器でカレーピラフ ☆お味噌汁☆簡単に天ぷらをの3品ですが、お味噌汁のだしは昆布とかつお節でとる本格調理です。

各調理台にいずみ会の方が2~3人ついて、それはそれは的確に素早くアドバイスをされます。質問をする方も真剣そのもの。「ウイナーを切って!」「大きさは?」「油揚げは湯通ししますか?」「お湯が沸いてないよ」と質問と返答の声飛び交い、まさに戦場のような皆さんの動きに圧倒されました。

そんな中、お料理がどんどん出来上がっていきます。同時に食器が手際よく運ばれて、盛り付けがされると、

さっきの喧騒は何処へやら、そこはレストランに早変わり。「いただきます」と試食会です。食べながら今日の手順のおさらい会となり、「忘れんうちに今夜は天ぷらにしようかな」「えーっ!昼と夜食べたらカロリーオーバーやで」シニア世代ならではの気遣いの対話です。いずみ会代表の北井さんが各グループの出来栄を見て回り、「みそ汁の中の豆腐に個性が出てますね。湯豆腐のようなグループもあります」との感想に大笑い。和やかな空気の中で、本当に美味しく頂きました。

半分くらい頂いたころメンバーの方たちが一斉に取り出したのは「持ち帰り容器」でした。分量が多いとか、奥様にお土産とか、それぞれの思いは違いますが、心得たものでまたまた手際よく容器に収納されました。

ごちそうさまの後は片付けですが、これもまた、皆さんが慣れた手つきで洗う・拭く・なおすと、チームワークよろしく、さっさと片付いていきました。

終了後には全員の方が「良かった」「大変良かった」との感想で、「料理が身近になった」「食卓に一品増えた」との意見もありました。私は心もお腹も満タンになりました。



男性も家事・介護

不慮の事故で骨折し、手首関節が動かない約2か月間、毎日の家事や高齢の母の身の回りのことなどを夫がしてくれました。子育て中の男性の家事参加時間は若い世代では大変短いのですが、高齢の男性は時間が増えているそうです。男性による介護について考えてみました。

従来は、介護の主力は嫁・妻・娘で、女性の介護が当然と考えられていました。しかし三世同居が減少し、夫婦のみか一人暮らしが増えるなどの背景があり、平成25年の国民生活基礎調査によると、同居の主たる介護者は妻・娘・嫁を合わせて7割と減少しました。一方、夫や息子といった男性介護者が約3割と増加し、男性であっても介護とは無縁でいられなくなりつつあります。仕事中心で来た男性は、女性より家事や介護のスキルがあまり高くありません。また自分から進んで周囲に悩みを打ちあけることが少ないので、孤立しがちです。そこで、介護者同士が交流できる男性介護者の会が各地で設立されています。



介護は、女性や男性に関わらず、避けて通れない問題です。家族の一員が病気や体が不自由になったら、その他の家族同士がコミュニケーションをとり協力して介護することが当然です。そして介護者自身が頑張りすぎず、困ったときには声をあげて、周りの助けを借りることが必要です。男性介護者が女性と同じ土俵で共に介護の問題を考えることで、より良い解決への道を探りたいものです。

育児・介護休業法改正

介護をしながら働く方や、有期契約労働者が 介護休業・育児休業を取得しやすくなりました

子育てや介護と仕事が両立しやすい環境をさらに進めるための「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」（以下「育児・介護休業法」）を改正する法律が、平成29年1月1日に施行されました。

この改正により、育児休業・介護休業の申出ができる有期契約労働者の要件が緩和されたり、介護休業の分割取得や子の看護休暇・介護休暇が半日単位で取得できるようになりました。育児休業等の利用や言動により労働者が就業環境を害されることがないように事業主は雇用管理上の措置を講ずることも義務づけられました。平成28年8月に介護休業給付金が40%から67%に引き上げられたことも合わせ、これで「結婚・出産・子育て」や、「介護」をしながら「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の実現が進みそうですね。

「育児・介護休業法」「男女雇用機会均等法」の内容等について詳しくは 兵庫労働局雇用環境・均等部

078-367-0820 までお問い合わせください。

3月のお知らせ

女性の健康週間（3/1～3/8）



女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援するために創設されました。シンボルマークはWOMANの“W”をモチーフにしています。上部に並べた3つの●は、母娘3代を意味し、女性の体、頭、そして心の問題も表します。産婦人科医が女性の「生涯の健康」を「総合的に」サポートする姿勢をマークにしました。

国際女性デー（3/8）

女性たちが、平和と安全、開発における役割の拡大、組織やコミュニティにおける地位向上などによって、どこまでその可能性を広げてきたかを確認すると同時に、今後のさらなる前進に向けて話し合う機会として、国連が1975年に設けた記念日です。



ミモザの日

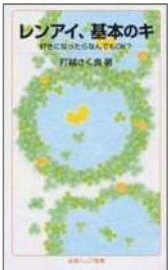
新着図書のお知らせ

その内の2冊をご紹介します。こらぼーよの図書コーナーには様々な本があります。ぜひお越しくださいね。1人5冊まで借りられます。

『レンアイ、基本のキ』

好きになったらなんでもOK?』

打越さく良 著 岩波書店 2015年



10代の読者を対象に、「恋愛って何だろう？これっていいの？」の疑問にまっすぐ答えてくれる本です。テレビやアニメでは理想的な恋愛についての情報が氾濫し、現実にはストーカーなどの犯罪もあります。恋愛の陰には、男だから～、女だから～の刷り込みがあり、DVやデートDVを生む一因になっています。しかし、本当の恋愛においては女も男も、ちゃんと自分の足で立ち、自分も相手も尊重できることが一番大事と著者は言います。実際に、被害にあった時の対処方法や相談場所も紹介しています。

しかし、本当の恋愛においては女も男も、ちゃんと自分の足で立ち、自分も相手も尊重できることが一番大事と著者は言います。実際に、被害にあった時の対処方法や相談場所も紹介しています。

『管理職のための』

女性リーダーを育てる本』

前田典子著 金融財政事情研究会 2015年



男性管理職の女性リーダーを育成する時の「5つの戸惑い」をもとに本書は始まります。リーダーとは、メンバーが強みを発揮できるようサポートし、集団を動かしていく人であり、リーダーとなっていける可能性は誰にでもあると説きます。女性部下の良さの伸ばし方や、

リーダーを育てるための上司の心得にも言及しています。女性リーダーを育てる管理職はもちろん、リーダーを目指す女性やそうでない働く女性にもぜひ読んでほしい1冊です。

女性のための 相談室

火曜・木曜
10:00～16:00

電話相談
面接相談（予約制）

女性問題相談員が女性の立場に立ち、問題解決に向かえるようサポートします。まずはお電話ください。

0794-89-2331

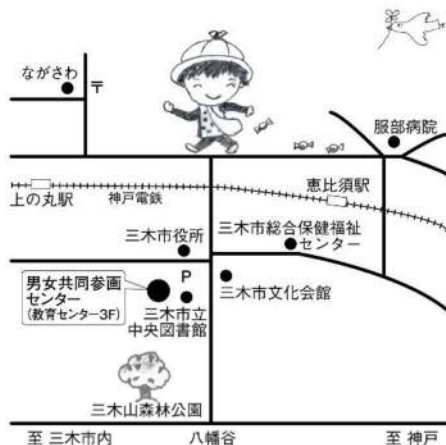
三木市男女共同参画センター 愛称 こらぼーよ

三木市福井1933-12
三木市立教育センター3階
(三木市立中央図書館横)

TEL&FAX 0794-89-2331

開館時間 9:00～17:00

休館日 土・日・祝日・年末年始



* 編集後記 *

毎年、寒さがやわらかく頃、ポコポコとふきのとうが顔をだします。昨年は、20個程…今年はどうかな。いつも天ぷらとふき味噌を作ってます♪

ふきのとうの香りは、我が家に春を知らせてくれます。(kan)



企画編集：

情報誌こらぼーよ編集グループ

発行：

三木市男女共同参画センター